

2019年9月11日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

現場監督者の“ものづくり魂”がここに！西日本地域の16工場が登場
「第15回 第一線監督者の集い：福岡」
～ものづくり企業の現場監督者による現場マネジメントの事例発表会～
(10月3-4日の2日間、福岡国際会議場)
聴講者の投票で、各日の最優秀事例賞が決定！

一般社団法人日本能率協会（JMA、東京都港区、会長：中村正己）は、2019年10月3日（木）・4日（金）の2日間、福岡国際会議場で、「第15回 第一線監督者の集い：福岡」を開催します。

この催しは、西日本地域にある製造ラインの現場監督者（第一線監督者）が、リーダーとして、どのようにメンバーのやる気を引き出し、現場の士気を高めていったか、また、生産性や品質などの現場の課題を解決し、現場を変えていったかといった改革事例をプレゼンテーションするものです。各日とも聴講者の投票により、最優秀事例賞が選出されます。

会社を代表して“ものづくり魂”を披露する発表者を是非ご取材ください。

Check見どころ！

日本ものづくりの主演「第一線監督者」の素顔に迫る

第一線監督者は、本社の戦略に基づいて、製造上の課題や目標をクリアする実行部隊のリーダーです。ものづくりの主演と言っても過言ではありません。イベントでは、普段あまり表に出ない彼らの素顔に迫ります。プレゼンテーションのポイントは次の4点。

- 【1】工場または事業所の課題と目標をどう理解したか。
- 【2】自分たちの職場の課題とありたい姿についてどう考えたか。
- 【3】改善の取り組みや人材育成の場面で、どのようにリーダーシップを発揮したか。
- 【4】今後どのような役割を果たしていくか。

必ず壁にもぶつかります。その壁をどう乗り越えていったか、そんなストーリーも見どころです。そして、準備期間に1年以上かける人もいるほど、発表にかける熱量が非常に高いイベントです。

ものづくりは人づくり～結局は人がすべて。現場の問題は現場でしか解決できない～

IoTやAIの活用など、製造現場のデジタル化は急速に進んでいます。もちろんこうした最新テクノロジーは重要ですが、テクノロジーや設計・デザインだけでは製品をつくることはできません。製造～検品～出荷まで、作業者が最適にマネジメントされ、日々変化する現場の課題を解決できてはじめて「ものづくり」は成り立つのです。「ものづくりは人づくり」このあたりまえのことを実感できる場が「第一線監督者の集い」なのです。

“すごい工場”の宝庫 日本を代表する企業のものづくりの底力に迫る

発表するのは、自動車、機械、鉱業など日本を代表する企業が並びます。第一線監督者の活動や想いを通して、日本を代表する産業の1つである製造業の将来像が見えてくるのではないのでしょうか。

＜問い合わせ先＞ ※取材の詳細は3枚目をご覧ください。

一般社団法人日本能率協会 広報室 斎藤・川村 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
(Tel: 080-3201-4599・03-3434-8620／E-mail: Yuka_Saito@jma.or.jp)

「第 15 回 第一線監督者の集い：福岡」

開催概要 公式サイト：<https://foreman.jp/kyushu/>

会期：2019年10月3日（木）・10月4日（金） 会場：福岡国際会議場・多目的ホール（2階）

主催：一般社団法人日本能率協会 定員：各日400名

対象：ものづくりに関わる第一線監督者、改善スタッフ、現場リーダーの方々

ものづくり改善・革新活動を推進するスタッフ、事務局の方々

組長、職長、班長、工長、作業長、フォアマンの方々

聴講：日本能率協会会員：1日あたり27,000 円（税別）／2日間で 52,000 円（税別）

料金 上記会員外 ：1日あたり29,000 円（税別）／2日間で 56,000 円（税別）

プログラム 10月3日

Time	内 容	テーマ
10:00	主催挨拶／進め方の説明	
10:10	トヨタ自動車九州（福岡県） 塗装部 第1塗装課3係 工長 辻田 有二さん	製造×保全の垣根を越えた 変化点に強い職場づくり
10:30	日立金属 安来工場（島根県） 帯鋼工場 精整検査 2係 係長 植田 誠二さん	「職場の変化に驚きと感動」 ～もしかしてこれがイノベーション？～
10:50	ケイミュー（奈良県） 外壁材開発部 職長 山岡 篤史さん	全員が戦力となるチームを目指して ～ダイバーシティ・マネジメントへの挑戦～
11:10	本田技研工業 熊本製作所（熊本県） パワートレイン工場 エンジン組立モジュール ユニットリーダー 阪本 雄一郎さん	昭和の係長から平成の係長そして令和へ 聴く事コミュニケーション実践による 現場力・活力ある組織作り
11:30	質問票記入／質疑応答／昼食休憩	
13:05	マツダ 防府工場（山口県） 第4パワートレイン製造部 パワートレイン工務技術グループ 工務係 係長 近藤 史隆さん	心を一つに、保全の底力を集結 ～無くすぞ修理の予約待ち～
13:25	日立メタルプレジジョン（島根県） 生産センター 精鑄製造部 精鑄グループ溶解係 係長 米川 慎一さん	新米係長の苦悩 ～これからの溶解係のあるべき姿～
13:45	デンソー九州（福岡県） 第二製造部 2工場 生産7課 2係3班 班長 納所 直樹さん	私の両腕と共に活動した可動率向上活動 ～将来を見据えた私とラインの自立～
14:05	JFEスチール 西日本製鉄所 福山地区（広島県） 制御部 熱延制御室 統括（副課長） 南部 隆治さん	“情熱”と“技術”を繋ぎ育てる 禍転じて福となす トラブル解決を通じて 職場活性化と技術力向上を実現
14:25	質問票記入／質疑応答／投票／休憩	
16:00	パネルディスカッション：「現場マネジメントの実践を公表することをで得られたものとは？」 トヨタ自動車九州 塗装部 塗装設備課 課長 木下 一弘さん（2014年度発表） 本田技研工業 熊本製作所 完成車工場 車体製造MO SSヘッド 荒木 孝幸さん（2009年度発表） マツダ 防府工場 第4パワートレイン製造部 アシスタントマネージャー 白上 智之さん（2017年度発表） （社名50音順）	
16:40	コーディネーターまとめ／最優秀事例賞の発表	

前回の開催風景は
こちらからご覧ください。



過去の受賞者は
こちらからご覧ください。



プログラム 10月4日

Time	内 容	テーマ
10:00	主催挨拶／進め方の説明	
10:10	日産自動車九州（福岡県） 製造部 物流課 監督者(工長) 蔵前 健治さん	配置転換を通じ編み出した チームビルディング手法 ～理想の監督者への挑戦～
10:30	コベルコ建機（岐阜県） 大垣事業所 大垣製造室 製缶班 班長 高井 裕介さん	平準化生産と多様性を活かして 「ワークスタイル変革」への道のり ～ニコニコ休暇と特別な時間をありがとう～
10:50	ダイキン工業（大阪府） 空調生産本部 臨海製造部 製造課 組長 國見 和哉さん	全員一丸での新工場立上げプロジェクト取 組み～自らの成長と部下の人財育成による 生産性向上～
11:10	日立製作所 笠戸事業所（山口県） 車両製造部 車両第二課 車内製作係 個室組 組長 朝廣 克義さん	革新的な考え方へ ～私がこの職場を変える！ チームの心を1つに～
11:30	質問票記入／質疑応答／昼食休憩	
13:05	キャタピラージャパン 明石事業所（兵庫県） 製造部 板金工作課 工作係 板金機械ライン フォアマン 井上 正則さん	さすらいの一匹狼から群狼集団へ ～変化を恐れず進化せよ！～
13:25	ダイハツ九州（大分県） 樹脂部品課 係長 村本 貴紀さん	無知の知 ～14年目の新入社員～
13:45	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 熊本TEC（熊本県） 熊本生産部門 ID熊本第2製造部 GDR技術課 内村 俊一さん	三現主義による生産スペース改善 チームで挑んだ活スペース プロジェクト ～自主性の向上と意識改革～
14:05	TOTO（福岡県） エレクトロニクス技術本部 電子機器製造部 電子機器製造課 ライン工程組長 工藤 輝邦さん	立ちはだかる壁！ 乗り越え築いた強固な現場！ ～協力と集中で芽生えた一体感～
14:25	質問票記入／質疑応答／投票／休憩	
16:00	パネルディスカッション:「現場マネジメントの実践を発表することをで得られたものとは？」 キャタピラージャパン 明石事業所 製造部 組立課 組立2係 安全衛生担当 / 技能伝承推進員 / ライン担当 池本 哲也さん(2014年度発表) TOTOアクアテクノ小倉 機器水栓製造統括一課 課長 杉本 貴彰さん(2006年度発表) 日産自動車九州 製造部圧造課 係長 村山 勝さん(2017年度発表) (社名50音順)	
16:40	コーディネーターまとめ／最優秀事例賞の発表	

ご取材について：ぜひ、本イベントのご取材をお願いいたします。ご取材いただける場合は、事前に下記の「取材申し込みフォーム」からご連絡をお願いいたします。



必要項目をご記入の上、送信ください。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/a3a84ec3146693>

お電話でのお問い合わせは、Tel: 080-3201-4599または03-3434-8620

日本能率協会広報室・斎藤・川村までお願いいたします。

※10月3日、4日どちらか1日のご取材も可能です。開催日ごとに最優秀事例賞が決まります。

※発表者個別の取材のご希望がございましたら、あわせてご一報ください。